

概要	内容	本報告書参照事例番号
療養上の世話	<p>療養上の世話における熱傷の事例が報告された。 (平成19年年報212頁、第13回報告書144頁等)</p> <p>1歳4ヶ月の患児の保温の為、両下肢の間に温枕を置き、両下腿に加温したおしぼりにタオルカバーをしたものをおいた。約8時間半後に温枕がぬるくなっていたので、温枕とおしぼりを更新した。その30分後、血圧測定時に両下腿が熱く感じ、下腿の下に温枕が直接あたっているのに気付いた。その後左下腿に水泡形成、浸出液の流出が見られた。</p>	該当なし
その他	<p>口頭での情報伝達の間違いが生じた事例が報告された。 (第13回報告書142頁)</p> <p>医師は、看護師にドルミカム4mg投与することを意図して「ドルミカム4ミリ静脈注射」と口頭指示を出した。看護師は、ドルミカム4mL(20mg)投与する指示だと思い、注射器にドルミカム2A準備し、「ドルミカム2筒、4ミリ注射します」と言いながら実施した。</p>	71頁 図表Ⅲ-2-1 No12
その他	<p>ベッドのサイドレールや手すりに関連した事例が報告された。 (第13回報告書142頁、第14回報告書130頁 第15回報告書172頁)</p> <p>夜間咳嗽が聞こえたため、病室を訪室すると、患者の首がベッド柵の間に挟まっていた。1本のベッド柵は外れかけていた。ベッド柵は高さが異なるものを使用していた。</p>	114頁 図表Ⅲ-2-13 No5